

姫路獨協大学 同窓会報

Himeji Dokkyo University Alumni Association

Himeji Dokkyo University
Alumni Association



2023.5.1. Vol.40

2023年度 第27回 同窓会総会・交流会

6月10日(土)

11:30~受付・12:00~総会 13:00~交流会

姫路キヤッスルグランヴィリオホテル

姫路獨協大学



姫路獨協大学同窓会 獨樂会

〒670-8524 姫路市上大野7-2-1

TEL&FAX: 079-223-9263 E-mail: honbu@hdud.gr.jp

URL: <https://www.hdud.gr.jp>



獨樂会 Facebook

2023年4月
姫路獨協大学 第11代学長に
初の女性学長として
井上清美先生が就任なさいました。
獨樂会:武本錠治会長が表敬訪問しました。



プロフィール

新学長 井上 清美 先生

略歴

兵庫県行政職員・神戸市看護大学・神戸常盤大学を経て、2016年姫路獨協大学看護学部開設に伴い、獨協学園姫路獨協大学入職

- 2016年 看護学部教授
- 2017年 播磨総合研究所 併任
- 2018年 看護学部長・学長補佐
- 2020年 大学院経済情報研究科 併任
- 2021年 副学長・看護学部長
- 2023年 学長

専門分野

公衆衛生看護学 地域看護学 公衆衛生学

免許・資格等

看護師・保健師・精神保健福祉士・養護教諭I種・第1種衛生管理者
日本公衆衛生学会認定公衆衛生専門家・日本難病看護学会認定難病看護師
日本公衆衛生看護学会認定公衆衛生看護専門家

学位

博士(医学:岡山大学)・修士(保健学:神戸大学)

モットー

今日の自分が明日を創る Make a difference!



開学時に建てられたモニュメント「三想」を背に、新入生と在籍生と共に…。



対談 井上新学長 × 武本会長



同窓生の皆さんには、大学に戻って来て頂きたい！

同窓生の母校を思う気持ち・母校愛が、大学を支える糧となり、在籍生を育むとお考えで、同窓会には、引き続き、在籍生を支援し続けて頂きたいと仰って頂きました。また、大学に戻って来る機会を作りて貰うと共に、大学祭等のイベントには是非、お越し頂きたいとの事でした。

同窓会：獨楽会と「手をしっかりと携えて、この大学を守りたい」また、「獨楽会との繋がりをより強固にして行く為にも、力を貸して欲しい」と、力強く仰っておいででした。



少人数だからこそ可能な大学教育

学群・学部・学科の垣根を超え、全教員・職員が全在籍生に対面して教育を進めて行く必要があるとの御認識でした。

18歳成人として初めての大学生を受け入れ、眞の血の通った教育を目指し、愛情を持って対応なさるとの事でした。



総合大学だからこそ叶う教育

文系・理系という枠組の教育ではなく、シンクタンクとして力を結集しての教育が必要である事、また、在籍生が充実した学生生活を送る事が出来るよう、4年間・6年間を伴走する覚悟であるとの決意に満ちたお言葉を述べておられました。



姫路獨協大学の社会貢献使命

求められる大学・期待される大学となるよう、何をすべきかを改めて考える必要があるとの御認識でした。

また、既に、社会貢献をなさっている人材を大学に呼び寄せたいとお考えです。



会談を終えて…。

折角の会談を挨拶のみで終わらせてはならない！との井上学長の熱い思いから、同じく4月に看護学部長に就任された教授：三宅靖子先生にも、御同席頂きました。

当初、会談は15分程度の予定でしたが、1時間以上に亘って、幅広い意見交換の機会を頂き、大変、有意義な表敬訪問となりました。

井上学長、三宅看護学部長には、貴重なお時間を頂戴し、改めて、感謝申し上げます。

令和4年度姫路市大学発まちづくり研究助成事業成果発表会に参加しました。

2023年2月20日(月)、姫路市総合福祉会館にて、「大学発まちづくり研究助成事業成果発表会」が開催されました。

姫路獨協大学からは、人間社会学群の「地域医療マネジメント研究チーム」(代表:清水隆明教授)と医療保健学部の「姫路の在宅医療を考えるグループ」(代表:水野智仁講師)の2グループが参加しました。

◎「地域医療マネジメント研究チーム」(代表:人間社会学群・清水隆明教授)

テーマ 官学連携による新型コロナウイルス対策のためのデータベースの活用

研究内容 官学連携型の研究班により、姫路市行政における地域健康安全・危機管理対策の視点から、新型コロナウイルス感染症対策に焦点化した新型コロナウイルス関連データの活用。

◎「姫路の在宅医療を考えるグループ」(代表:医療保健学部・水野智仁講師)

テーマ 姫路市における訪問看護師およびリハビリテーション従事者的人材に関する改善への取り組み

研究内容 姫路市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画におけるリハビリテーションの人材確保に対する提案。

<姫路獨協大学×老舗2社の販売促進プロジェクト>

【播磨100年企業コラボ商品】

人間社会学群産業経営学類では、PBL(課題解決型学習)を取り込んだ実践的な授業を行なっています。

兵庫県の播磨地域に在る創業100年を超える老舗企業「北條製餡株式会社」と「株式会社本田商店」が開発した【発酵あんこ】の販売促進プロジェクトに、経営コースの演習授業(ゼミ)を受講する学生19名が参画しました。

このプロジェクトでは、学生達が新商品【発酵あんこ 百年の豊穣】のマーケティング戦略を考え、提案を行ないました。



【発酵あんこ 百年の豊穣】は、こしあん・つぶあん(いずれも140g)の2種類。クラウドファンディングサイト「Makuake」で2023年1月30日まで先行販売し、目標金額を達成しました。



北条製餡株式会社:発酵あんこ

<https://www.hojo-seian.com/product/hakko-anko/>



ポリファーマシーの啓発動画 <姫路獨協大学×兵庫県西播磨県民局>

2022年10月、姫路獨協大学の学生が作成した「ポリファーマシー啓発動画」が、兵庫県公式YouTubeチャンネル「ひょうごチャンネル」(兵庫県インターネット放送局)に公開されました。是非、御覧下さい。

YouTubeチャンネル「ひょうごチャンネル」@hyogoch ポリファーマシー

検索 



兵庫県西播磨県民局から、「一般市民向けのポリファーマシー啓発」に関する動画作成依頼があり、全学規模で薬学部教授の柳澤吉則先生の指導を受けながら、約4か月に亘り、オンラインの意見交換等、9回の会議を経て、啓発動画を完成させました。

ポリファーマシーとは?

単に飲む薬が多い事ではなく、多くの薬を飲んでいる事で、薬の相互作用等により、体調に生じる有害事象の事です。

令和4年度「臨床看護師スキルアッププロジェクト」

看護学部主催の「臨床看護師スキルアッププロジェクト」が、2022年10月1日・15日・29日、兵庫県立はりま姫路総合医療センター教育研修棟の「獨協学園 姫路医療系高等教育・研究機構(通称:獨協学園はり姫サテライト)」において開催されました。

「地域医療とともに支える看護の力」をテーマに、実践力を養う為の実習を交えて行なわれました。

姫路市と周辺地域の病院・訪問看護ステーション・福祉施設等の医療現場で活躍する臨床看護師の参加があり、熱心に受講されました。



2023オープンキャンパス

ミニ講義体験を始め、入試担当者による入試最新情報・攻略ポイントの解説があります。

また、学生スタッフ(COLORS)の学内案内や、受験に対する悩み・進路相談に加え、キャンパスライフについて、何でも答えて下さいます。

イベント満載の**ヒメドクのオープンキャンパス!**
是非、御参加下さい。

5月20日(土)・6月24日(土)・7月15日(土)
8月5日(土)・8月26日(土)・9月2日(土)

開催時間等は、詳細が決定後、「オープンキャンパス特設サイト」で掲載されます。

問い合わせ先 入試センター
TEL:079-223-6515



活躍する同窓生

法学部1997年卒 堀野 正樹さん

獨楽会の皆さん、はじめまして!

1997年法学部卒の堀野正樹と申します。

現在は、株式会社みらいマーケティング本舗と言う会社の代表を務め、企業のマーケティング支援事業を展開しております。製造業・旅行会社・アパレル・飲料メーカー・大学・教育機関等、多岐に亘る企業のコンサルティング業務を行なう傍ら、将来を担うマーケティング人材の育成にも積極的に取り組んでいます。



思い返すと、学生時代は授業をサボってバイトや旅行に励む等、決して模範的な学生ではありませんでしたが、自らサッカーサークルを立ち上げて運営すると言う貴重な体験が出来ました。

「男女問わず気軽にサッカーを楽しむ」とのコンセプトで、20数人のメンバーと姫路市の社会人リーグに参戦したり、学食に集まって喧々諤々の意見交換をする等、サッカーの上手下手は関係なく和気藹々と楽しむ事が出来ました。

この経験で培った企画力・行動力・調整力は、社会に出てからも非常に役に立っていますし、自ら行動を起こしてやりたい事を実現すると言う今の生き方の原体験にもなっています。

今後は、日本と海外の2拠点で働くスタイルに挑戦して、日本のみならず世界を舞台に、活躍の場を広めて行きたいと模索中です。

もし、ホームページを活用して売上を伸ばしたい!マーケティング組織を作りたい!と言う同窓生の方がいらっしゃれば、お気軽に御相談下さいませ。



株式会社みらい マーケティング本舗

外国語学部2005年卒 山本 昌弘さん

先ず前提条件として、学生時代に学ぶお金も教育環境にも恵まれた中で育った訳ではない。他の卒業生で長期留学を経て活躍されている方々の記事も拝読したが、手軽に国外で学ぶ機会を得られない学生には、そのプロセスを参考にするのは困難であり、当方の例は多くの方の励みになると思慮。

現在の仕事はLNGの輸出入業務に携わる会社員兼個人投資家。会社員としては石油メジャー(Shell・BP・Chevron等)、国営石油会社(Petronas・Sakhalin Energy・PetroChina等)や海運会社の

担当者を相手に、LNG船の受入れ準備等を担当中。

膨大な資料のやり取りが必要となり、日本時間だけでなく相手国のオフィスアワーに合わせて働く苦労もあるが、多い



時期で年に10回程の海外出張の機会を頂き、国外を飛び回る事で多くの国の方々と接し、異文化や世界情勢を肌で感じる貴重な経験をさせて頂いている。



学生時代は経済的な理由より選択肢が限られていた為、泥臭くも如何なるプロセスを経て目的地に辿り着けるかを模索する時期であった。

学んだ事の一つとしては、机上の「知識」は道具であり、道具の使い方を知らないと価値を創造する事が出来ず、対価を得る事が出来ないが、逆説的に言えば、例え道具が少なくとも、道具を最大限に活用する「経験」と言う地頭により、充分に社会で活躍出来ると言う事だ。

また、ゼミの先生でもあり、大手企業勤務を経て教授になられた辻和成先生の「誠意を持って仕事をしていれば必ず誰かが見ている」との教えは当方に深く突き刺さり、その言葉を信じて前に進んだ事が、今に繋がっていると考えている。

外国語学部2007年卒 渡邊 健太郎さん

私は、岡山市消防局で消防士として働いています。学生時代の私は、ゼミやアルバイトに精を出し、長期休みには旅行や留学を通じ人間力を鍛えていました。そこで、色々な分野の親友も出来、その絆は今も尚続いています。

消防士になったきっかけは、大学4年に就職説明で聴いた警察官や消防士の仕事に憧れを感じ、市民を守る職業に就きたいと考えるようになった事です。その後、一度は民間企業に就職していましたが、憧れた消防士に何としてでもなりたいと思い、仕事の傍ら、体力を付けたり、試験の勉強をして、やっと夢を叶える事が出来ました。

私の主な業務は、火災や救助・救急現場での現場活動です。皆様が想像している消防士の仕事を行なっています。また、消防士という仕事はそのイメージから体力必須の現場仕事と思われがちですが、折衝能力や法律や条例等を理解する力、DX等のICTスキルを始め、多様な能力が必要です。

そして、実際に働いてみると消防には多種多様な業



務があります。火災発生時に消火の助けとなる消防用設備の設置等を指導する予防業務、装備品や消防車の購入や庁舎等の修繕、更に福利厚生や給与処理を行なう総務業務等、多岐に亘ります。

どの業務もなくてはならないもので、今はこの仕事に就けた事に喜びを感じ、日々業務に取り組んでいます。

就活の時に思い描いていた夢や理想を諦める事なく努力し続けて、本当に良かったと思っています。

今後も市民の安心・安全の為に、様々な分野で活躍出来る消防士を目指してまいります。

獨協講座受講者募集！2023年度通年・春・夏講座

地域の皆様の学びの場として、「獨協講座」が開講されております。人間社会学群・医療保健学部・薬学部・看護学部の教員による「外国語」・「教養」・「健康」等の幅広いジャンルの講座が取り揃えられています。

卒業生・修了生の皆様には、受講料が1割引となります。是非、御検討下さいませ。



申込締切日 通年・春講座：4月26日（水）
夏講座：5月25日（木）

問い合わせ先 地域連携課 TEL:079-223-9258
E-mail:chiiki@gm.himeji-du.ac.jp

講座会場・開講時間・受講料等詳細について
は、大学HPの「地域連携（公開講座）」を御確
認下さいませ。

10月から始まる「秋・冬講座」は、9月上旬頃
から公開されるHPにて御確認頂けます。



「地域連携（公開講座）」
はこちら

大学院入試

2024年度大学院入試に関する詳細は、大学HPにて御確認下さい。
募集要項・願書の請求やお問い合わせは、教務課までお願い致します。

問い合わせ先 教務課 TEL:079-223-6504 E-mail:kyoumu@gm.himeji-du.ac.jp



大学院HP

第3回韓国語作文大会報告

韓国語御担当の先生方

第3回韓国語作文大会が、2022年12月1日(木)～14日(水)の募集期間で行なわれました。人間社会学群の1年生から4年生までの21名が参加し、1年生では300字程度、2年生以上は600字程度で、「私と韓国語」あるいは自由なテーマで作文を書き、学習の成果を発表しました。

同窓会からの支援は、広く獨楽会を知らしめる為、参加者全員に授与致しました。

最優秀賞 日比麻理乃

優秀賞 宮田万季 小田七海 松平彩名
樋渡万里子 野澤恭子

敢闘賞 松元颯馬 富士井媛琴 守屋奈保
氏方郁乃 大本侑衣梨 田中彩音
上野麟太郎 稲岡優 金輪亮汰



2022年度中国語弁論大会実施の報告とお礼

人間社会学群教授:田村祐之先生

毎年12月に開催して来た、人間社会学群国際言語学類・外国語学部主催の中国語弁論大会ですが、2020年度は新型コロナウィルス流行により中止、2021年度は動画投稿方式で実施と、この2年は新型コロナウィルスに振り回されました。

今年度は後期開始以降、感染状況も徐々に落ち着いて来た為、対面実施の方向で準備を進めてまいりましたが、11月に入ってからの感染再増加に鑑み、急遽遠隔(リアルタイムまたは動画)での実施に切り替え、12月3日(土)に実施致しました。

今年度は「朗読・暗唱の部」と「弁論の部」の2部門を設けました。最終的な参加者は、朗読・暗唱の部2名、弁論の部3名の計5名となり(1名は当日欠席)、日頃の学習の成果を披露しました。各部門の入賞者は左の通りです。カギ括弧内は朗読の課題文および弁論の題目です(字体は日本の常用漢字にしました)。

また、入賞者には、後日、同窓会より頂いた同窓会賞を授与させて頂きました。本弁論大会の開催を御支援頂き、誠にありがとうございます。



中国語弁論大会・韓国語作文大会において

2023年人間社会学群卒業:日比麻理乃さん

中国語は2022年の4月から勉強を始め、12月に初めて弁論大会に参加しました。中国語の勉強を始めた頃は、発音が上手く出来ない事も多々あり、苦手意識を持っていました。しかし、先生に発音の御指導を頂いたり、朗読する詩の音源を聴いたりして自分で練習する事で自信が付き、弁論大会の

本番では堂々と朗読をする事が出来たと思います。そして、努力が実を結び、朗読・暗誦の部で一位を取る事が叶いました。

また、韓国語作文コンクールでは2021年に引き続き、最優秀賞を目

標として自分が満足するまで何度も文章を書き直し、推敲を重ねました。その結果、今年も最優秀賞を受賞する事が出来た時の嬉しさは格別でした。このコンクールを通じて、私は今まであまり得意だと思えなかった文章を書く事の楽しさに気付きました。

大学生活最後の行事において、どちらも有終の美を飾る事が出来た事は、個人的に満足な結果になったと考えています。この経験は、今後の人生においても、何かに挑戦する為の糧となる事と信じています。

獨楽会より

日比さんは、課外活動表彰者であり、成績優秀者で卒業式総代でした。



異文化理解研修:シンガポール 2023年2月15日~24日

研修の為の事前講座で、シンガポールには主にマレー・中国・インドの3つの文化があると学んでいましたが、それらがどのように共存しているのかについての実感はありませんでした。しかし、現地でそれら3つの文化に直接触れ、体験的に学ぶ事で、多文化社会の在り方を少しあは理解出来たように思います。

それぞれの文化について印象に残っているのは、マレー系文化ではBatu Serembanという日本のお手玉と似た遊びです。様々なレベルの遊び方があって、



コロナ禍になって以降、海外に出るのは初めてだったので、準備する事が多く大変でした。日本は大変寒かったのですが、シンガポールに着いてすぐに暑い熱気を感じ、海外に来た実感が湧きました。

シンガポールとそこに在住する色々な人の文化について学ぶ機会を得られました。午前中には、シンガポールの原点とも言える3つの国(インド・中国・マレー)の文化について授業を受け、また、午後には、直接その文化を感じられる場所に立ち寄りました。

シンガポールは小さな国ですが、多国籍・多文化が共存している事が、不思議に感じました。日本のように一つの言語でコミュニケーションするのではなく、中国語・英語・シングリッシュ等、多様な言語を聞く事が出来ました。

今回、最終日に行なわれるプレゼンテーションのテーマ

レベルが高くなると大人でも非常に難しくなるのが楽しかったです。また、中国系文化では、伝統的なチャイナドレスの美しさに感銘を受け、実際に着てみるとワクワクしました。それから、インド系文化では、ヘンナというタトゥーのような習慣も体験しました。

研修を通して私の心に最も残ったのは、みんなが寄り添って助け合っている姿でした。多文化国家シンガポールでは、人々が自分の文化をしっかりと守りつつも、互いの文化を尊重し合って生活している事を実感しました。

この研修への参加を契機に、英語力を更に向上させ、色々な国の文化について一層の理解が深められるように頑張ろうと思います。

人間社会学群3年:小田海花さん

をインドに設定していました。全然、インドについて知らなかったのですが、発表資料を準備しながら宗教や文化について調べたり、直接リトルインディアに出向いて、興味深く目で見て食べ物を味わう事で、インドについてより深く理解出来た気がしました。



今回の研修で多くの事を学ぶ事が出来ました。日本では経験出来ない体験もする事が出来て、本当にやって良かったと感じています。まだまだ英語の実力が足りないと改めて感じましたので、今後は、英語の聞き取りを一層向上させ、頑張って行きたいと思いました。

人間社会学群3年:三輪文花さん

要です。なぜなら、店舗により注文ルールも異なるし、何を話し掛けられるか解らないからです。まさに、扉の向こうは未知の世界なのです。まだまだ、寮や大学の近くには入った事のないお店が沢山ありますから、一歩ずつ成長する為にも、新たなお店にチャレンジするよう心掛けて生活したいと思っています。

それから、台湾のバイクにも驚きました。広くない歩道で歩いていると、バイクが歩行者スレスレを猛スピード通り過ぎます。しかし、バイクには早く慣れる事が出来ました。交通量の多い道路では、歩行者とはいえ安全を意識して、気を付けて通行しています。

コロナの流行により、留学の機会が数年間減ってしまいました。しかし、海外での生活は自分の成長に繋がり、日本では体験出来ない体験が可能になります。また、新しい出会いも素敵な事です。異文化の中で生活する事は、自國へも目を向ける事に繋がると実感出来ます。

意思疎通が出来ない辛い事も多いのですが、残り11か月、頑張ってやり遂げたいです。笑顔で送り出してくれた家族や友人、そして、指導して下さった先生方への恩に報いる為にも、成長した姿で日本に帰りたいです。

交換留学体験

人間社会学群3年:中嶋理咲さん

台湾での留学生活が始まり1ヶ月が経ちました。台湾の友達や屏東大学の先生方、お店の店員さん等、新しい出会いが多くありました。しかし、そこでぶつかったのが言葉の壁です。会話のスピードが大変速く、知らない単語も沢山あって、聴き取る事が出来ず、不自由ない会話は遠い将来のようです。そのような私に、皆さんは一生懸命伝えようとしてくれます。台湾はそんな親切な人ばかりで、早く皆さんの優しさに応えたいです。知り合った人達とより深く、様々な会話が普通出来るようになる事が今の私の目標です。



台湾に来て初めに驚いた事は食文化です。台湾では外食が一般的で、屋台や店舗の食事は安くて美味です。日本では、家の食事が大半を占めていた為、毎日・毎食の外食に徐々に慣れて行きたいと思っています。また、お店の扉を開けるには勇気が必

全日本学生剣道優勝大会に出場

私達剣道部は、第70回全日本学生剣道優勝大会に出場する事が出来ました！

剣道部は、この大会に出場するのが活動目標だった為、大変嬉しく思っています。全日本学生剣道優勝大会に出場を決めるまで、日々の稽古で、部員同士お互いの長所や短所をアドバイスし合ったり、顧問の先生方に指導して頂いたりしました。また、沢山のOBの皆様方にも稽古に来て頂き、指導をお願い致しました。そのアドバイスや指導を元に、部員一人一人が自分の剣道と向き合って技を研究し、各々の技術向上に励む事が出来ました。

全日本学生剣道優勝大会出場を決める関西学生剣道優勝大会では、チーム一丸となっての応援や試合外でお互いを鼓舞する声掛け等、非常に良い雰囲気の中で試合に臨む事が出来たと思います。

しかし、勝ち上がって行くのも簡単な事ではなく、厳しい試合もありました。その中でもチーム全員が諦める事なく、全員が「絶対に勝つ」という強い気持ち

人間社会学群2年：ムハマド・キンタロさん



で臨んでいたので、その甲斐あって掴み取れた有り難い栄誉だと思っています。

全日本学生剣道大会では、一回戦目から強豪校と当たり、悔しい結果ではあったものの、滅多に剣を交える事が叶わない相手だったので、私達剣道部の今後の剣道人生において、大変貴重な経験だったと思います。

全日本学生剣道大会に出場出来た事は、日々指導して下さる先生方、そして、足繁く通って下さる先輩方、また、弛まぬ応援を続けてくれている保護者のお陰でもあります。感謝の気持ちを忘れずに、今後も頑張っていきます。

全日本学生柔道優勝大会へ出場

2022年度、第30回関西学生女子柔道優勝大会で優勝する事が出来、第31回全日本学生柔道優勝大会に出場を決め、ベスト8まで勝ち上がる事が出来ました。

私達がこの大会で目標にしていた事は、優勝以外ありませんでした。私達が入部した春、女子部員は4年生の女子主将しか居らず、一緒に練習する期間や関係性を築く時間の短さを痛感したのを覚えています。



人間社会学群2年：竹田美月さん

師範や監督・コーチ、そして唯一の女子主将を全国の舞台へ連れて行く事を目標に練習に励みました。

新型コロナウイルスの影響で思うような練習が困難になり、頭を抱える時もありました。しかし、そのような環境下でも、私達を牽引下さり、共に笑い共に泣いて下さったのは女子主将です。この春から、私達には先輩と呼べる女子部員は居ませんが、女子主将から学んだ事を活かしたいと思います。

次は、全日本学生柔道優勝大会で優勝出来るように日々活動しています。チーム内でのコミュニケーションを取り合う事に重点を起き、一人一人が高い目標を持続ければ、関西学生女子柔道優勝大会2連覇を達成する事は出来ません。今、私達に出来る事を精一杯全力で行ない、2連覇達成となるよう、更に日々の練習に力を入れていきます。

先輩方、応援下さいますよう、よろしくお願いします。

ファミリー専願入試

合格者には、合格時点で「ファミリー制度」が適用され、入学後に支援金が支給されます。

出願条件としては、以下の条件を満たす者で、合格した場合に必ず入学する事を確約出来る専願者とします。

1. 学業成績・人物ともに優れ、校長が推薦する者
2. 2親等以内の親族が本学を卒業・修了、もしくは、本学に在学中の者
3. 以下のいずれかを満たす者



- ①高等学校又は、中等教育学校を卒業した者、及び2024年3月に卒業見込みの者
- ②通常の課程による12年の学校教育を修了した者、及び2024年3月に修了見込みの者
- ③学校教育法施行規則第150条第2号・第3号及び第7号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、及び2024年3月31日までにこれに該当する見込みの者

詳細は、大学のHPの「受験生応援サイト」にて、御確認下さい。

問い合わせ先

入試センター 電話:079-223-6515

From 獨楽会

召集のお手伝い致します!

同期会・ゼミ会・OBOG会の招集は、お困りではないですか?

獨楽会では、会員間の取次サービスを行なっておりまます。召集のお手伝いは、お気軽に、事務局までお問い合わせ下さい。詳細は、獨楽会HPにて、御確認願います。

また、同期会・ゼミ会・OBOG会の開催に当たり、獨楽会では、支援を致しております。こちらも、お気軽に、お問い合わせ下さい。

問い合わせは

獨楽会事務局 <https://www.hdud.gr.jp/>

獨楽会からの発信!

大学情報等、Facebookを通じて、御紹介しています。獨楽会サイトも、リニューアル致しました。

同期会・ゼミ会・OBOG会等の告知でも、御利用頂ければと思います。

同窓生の皆様方の拠り所として、是非、獨楽会を御活用下さい!

獨楽会からのお願い

◎求む!同窓会運営委員

同窓会の運営をお手伝い頂けませんか?

2ヶ月に1度のペースで、運営委員会を開催致しております。御協力、よろしくお願ひ致します。

○会報への寄稿

同窓会報への寄稿、お待ち致しております。

近況報告はもちろん、同期会・ゼミ会・OBOG会の開催等、何でも、寄稿頂ければと思います。

◎御注意を!:獨楽会では、名簿業者との提携はしていません!

獨楽会や大学関係者を装い、同窓生の皆様に問い合わせや勧誘があるとの旨、お知らせを頂きます。電話による各種調査も一切実施致しておりませんので、不審な問い合わせ等がありましたら、事務局まで、お知らせをお願い致します。

○住所変更について

転居・住居表示等の変更、また、就職・転職をなさつたら、事務局までお知らせをお願い致します。

頂いた情報は、キャリアセンターとも協力して、後輩の就職活動に、役立たせて頂いています。確実に、同窓会報をお届けする為にも、御協力の程、よろしくお願ひ申し上げます。

第27回 2023年度 同窓会総会・交流会

日 時 2023年6月10日(土) 総 会 11:30~ 受付・12:00~ 開始
交 流 会 13:00~ 開始

会 場 姫路キヤッスルグランヴィリオホテル
総 会:2F会議室 松竹の間
交流会:3F宴会場 錦の間

上記の通り、同窓会総会・交流会を開催致します。

総会・交流会共に、出欠確認は、右下のQRコードから登録をお願い致します。また、近況報告もお願いしたいと存じますので、欠席の場合でも、サイト訪問をして頂ければ幸いです。

交流会は、名刺交換会がてら、御参加下さい。軽食の提供も致します。

COVID-19の余波にて、卒業記念パーティーの開催も見送られています。直近の獨楽会新会員の皆様方には、是非、御来訪頂きたいと思っております。

それでは、情報拡散・万障繰り合わせての御参考、心より、お願い申し上げます。

問い合わせ先

姫路獨協大学同窓会：獨楽会 〒670-8524 姫路市上大野7-2-1
E-mail : honbu@hdud.gr.jp



情報拡散、大歓迎！

計 報

神保全孝先生:外国語学部日本語学科教授(88歳)	2022年1月 3日
古藤友子先生:外国語学部日本語学科教授(70歳)	2022年2月 5日
佐野智行先生:人間社会学群教授(59歳)	2022年3月 27日
星野次郎先生:人間社会学群教授(69歳)	2022年6月 22日
秋本義久先生:人間社会学群教授(69歳)	2023年3月 16日



編集後記

第11代井上清美新学長の高らかなお声を聴き、新たな一步が踏み出されたと確信致しました。小柄なお身体から、溢れ出すエネルギー！在籍生には、そのパワーを感じて貰いたいと思います。(姫獨協子)